

2016年(平成28年)3月25日(金曜日)

給配水管延命など学ぶ

外補協がMS改修で勉強会



北海道建設新聞

改修現場で使用される技術を学んだ

北海道外壁補修改修工事業協同組合(小川利広会長)はこのほど、札幌市内で勉強会を開いた。約50人が参加し、マンションなどの改修に関わる技術について認識を深めた。

日本システム企画北海道営業所の松下博之所長が講師を務め、給水管を延命させる配管防せい装置「NMRパイプテクター」を紹介。配管は通常、25―30年で更新期を迎えるが、この装置を付けることによって赤さびを黒さび化させ、さらに防せいすることで給配水管の寿命を伸ばし、建物の寿命時期まで配管更新を伸ばすことができるといった特長を説明した。